

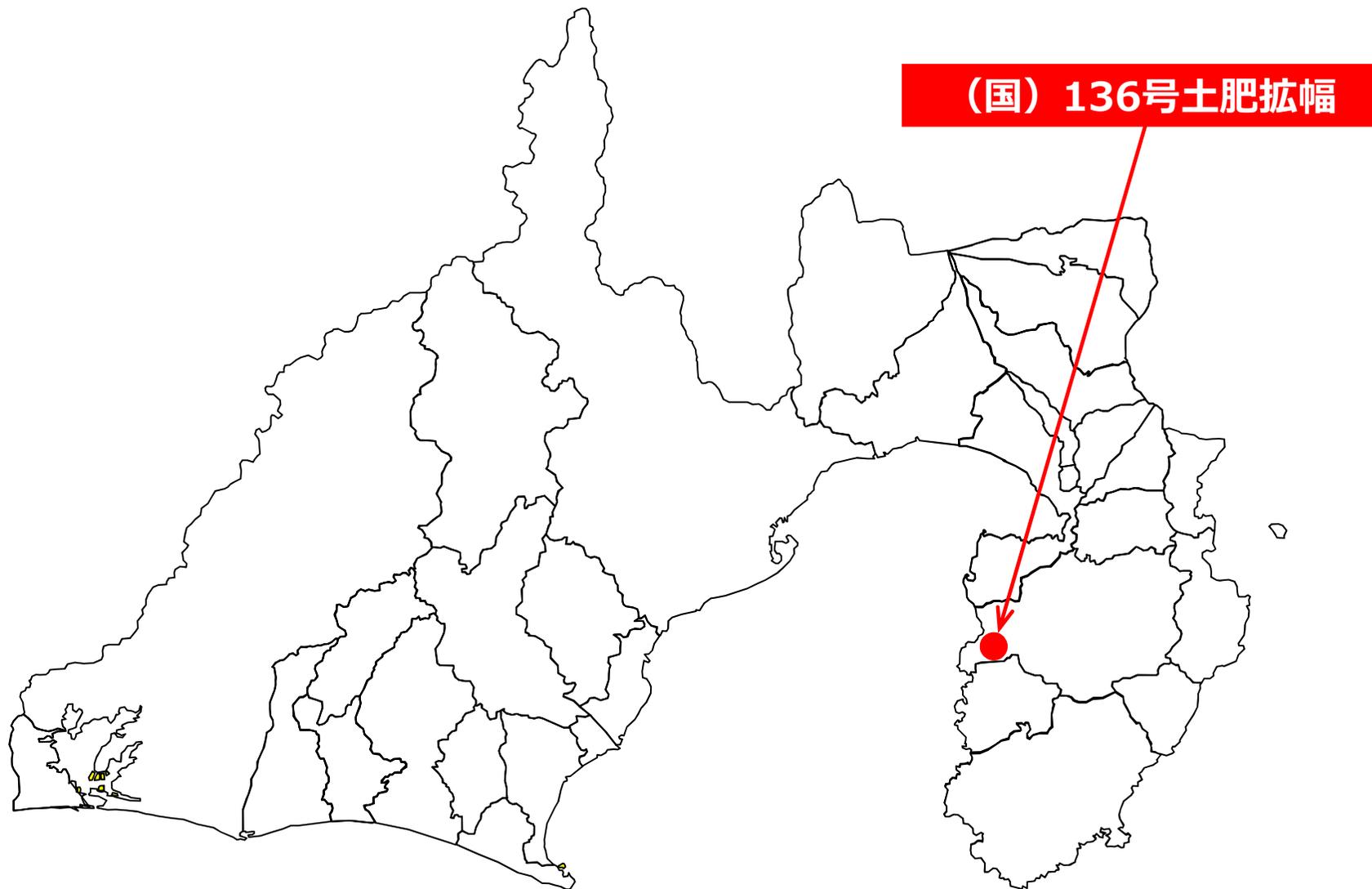
# 令和5年度 公共事業事後評価

## 道路事業：1事業

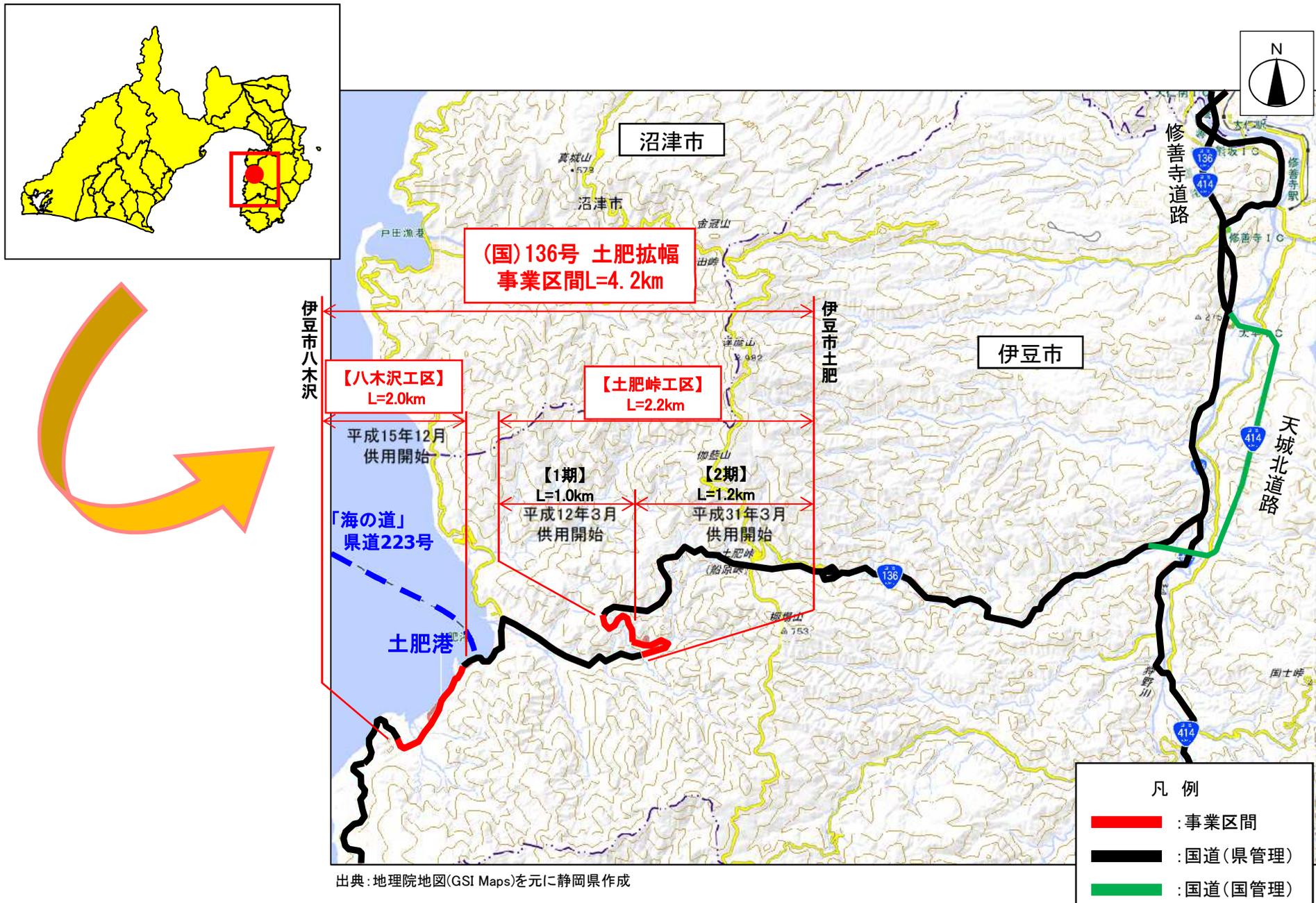
番号	事業名	箇所名	代表事業
1	道路改良事業	いっぽんこくどう とい 一般国道136号土肥拡幅	○

交通基盤部 道路局 道路整備課

# 令和5年度 公共事業事後評価

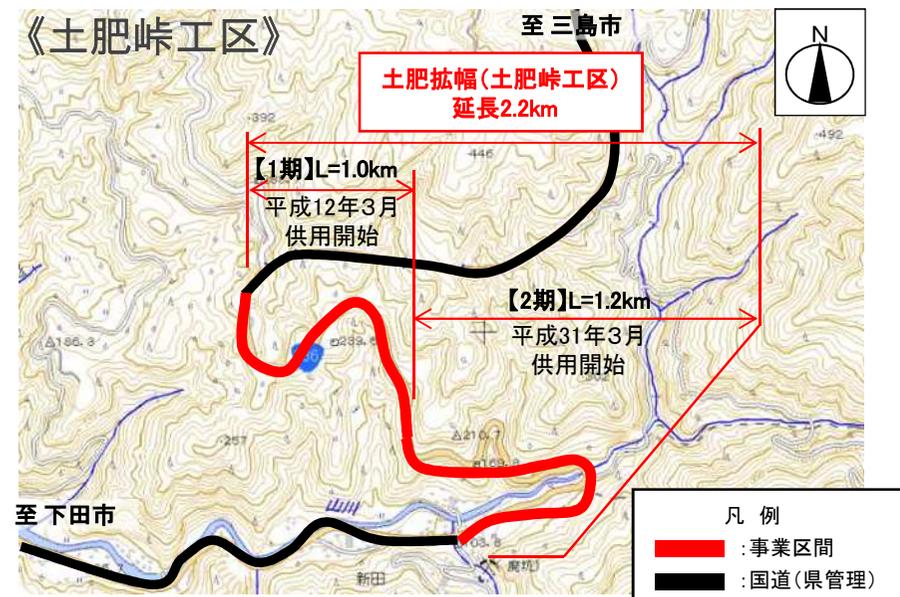
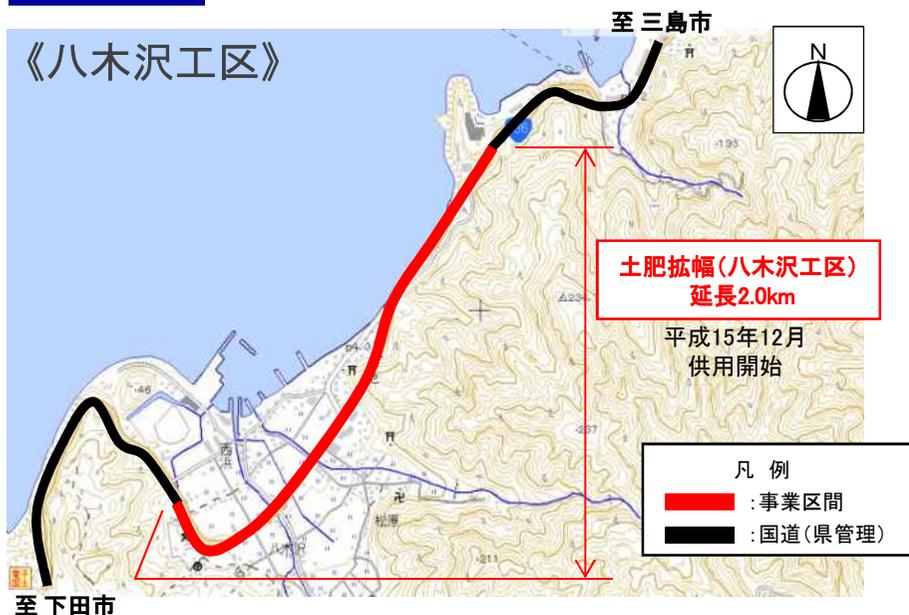


# 事業箇所位置図（詳細）

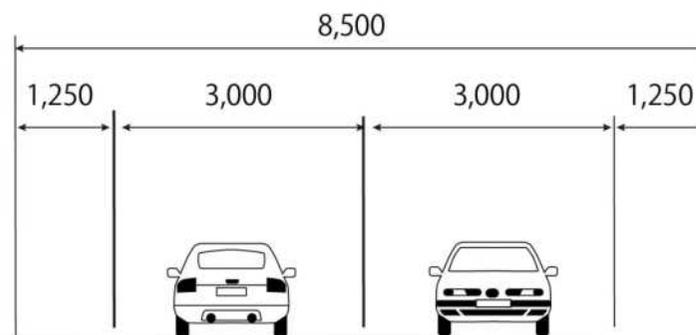


# 事業概要

## 平面図



## 標準横断図



### 【事業概要】

- ・事業期間: 昭和61年度～平成30年度
- ・事業延長: 4,245m  
(八木沢工区: 2,020m、土肥峠工区: 2,225m)
- ・道路幅員: 車道6.0m(全幅8.5m)
- ・車線数: 2車線
- ・全体事業費: 168億円

### ■ 前回からの変更点・理由

	前回	事後	主な変更理由
①計画期間	S61～R2	S61～H30 (2年短縮)	・補正予算の活用による。
②全体事業費	15,400百万円	16,792百万円 (1,392百万円増加)	・地質の相違による橋梁基礎の変更 ・地すべり対策工の追加

# 事業概要の発現の状況（交通の円滑化）

## 現道状況（八木沢工区）

整備前



整備後



## 現道状況（土肥峠工区）

整備前



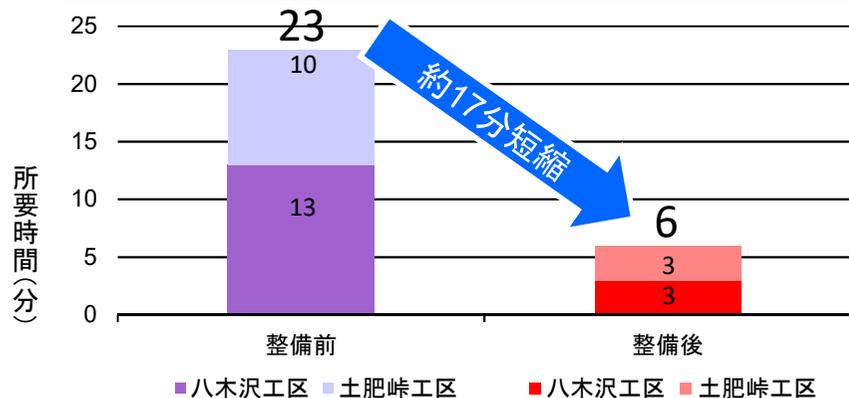
整備後



# 事業効果の発現の状況（交通の円滑化）

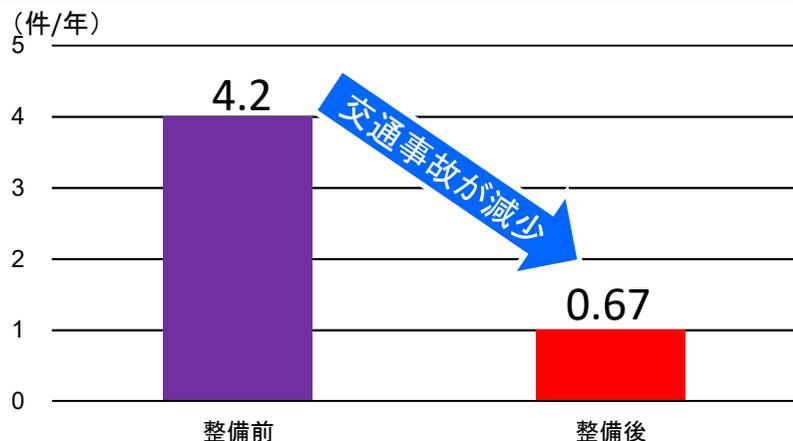
- 本整備により、狭隘区間が解消したことで、走行時間が短縮し、安全で円滑な交通が確保された。

## 所要時間の短縮

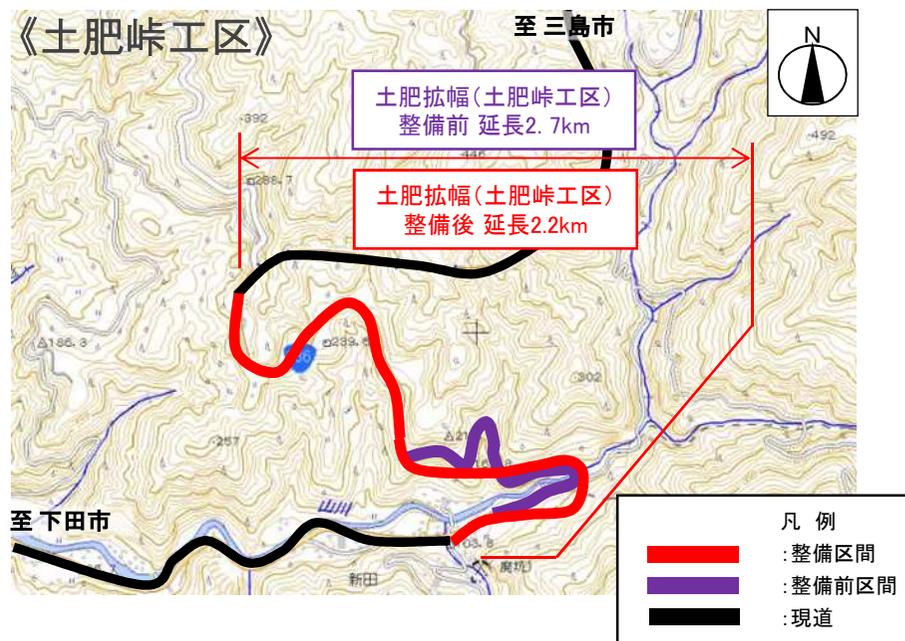


※所要時間(八木沢工区と土肥峠工区の合計)  
 整備前: 八木沢工区 13分 土肥峠工区 10分  
 整備後: 八木沢工区 3分 土肥峠工区 3分

## 事故件数の減少



※死傷事故件数(八木沢工区と土肥峠工区の合計から平均値を算出)  
 整備前: H7~H11の5ヶ年平均 整備後: R1~R3の3ヶ年平均



# 事業効果の発現の状況（観光の活性化）

・本バイパスや周辺道路の整備とともに、西伊豆地域の沿岸部には、多数の観光施設等の立地が進んでいる。

※事業着手後に新しくオープンした観光施設等の写真



はんばた市場

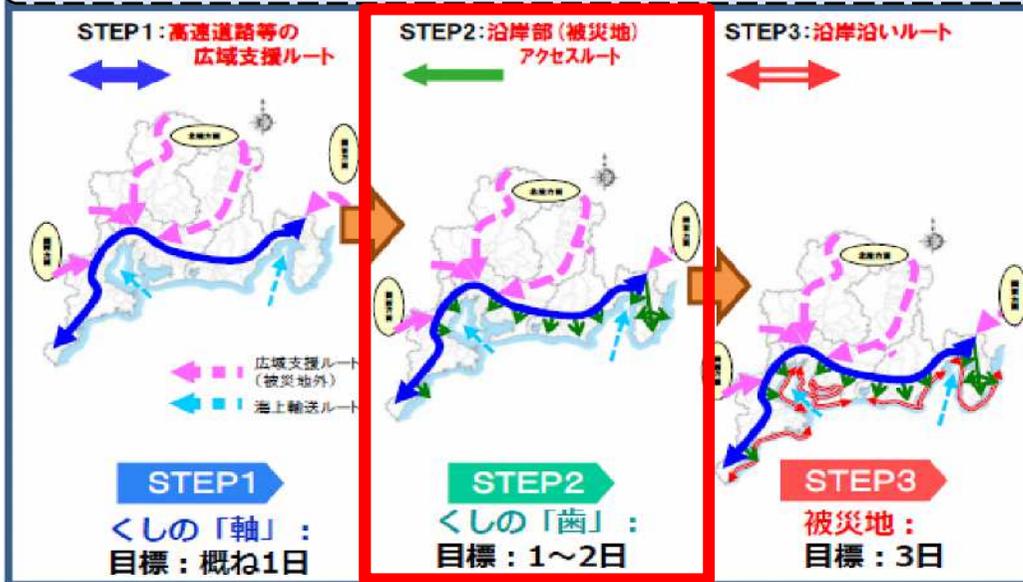


依田之庄



# 事業効果の発現の状況（災害に強いネットワーク）

バイパス整備により要対策箇所を回避し、災害に強い道路ネットワークを構築した。



# 対応方針（案）

## （1）対応方針（案）

**事業効果は十分に発現しており改善措置の必要はない。**

- ・ 狭隘区間をバイパス化や拡幅することで、安全で円滑な交通が確保された。
- ・ 観光施設等へのアクセス時間短縮により利便性が向上し、伊豆地域の経済活性化に寄与している。
- ・ 事業区間の要対策箇所を回避し、災害に強いネットワークを構築された。

## （2）今後の課題・対応

- ・ 橋梁及びトンネル等の維持管理について、新技術・新工法を活用するなど適切な管理を行うことで、ライフサイクルコストの縮減及び長寿命化を図る。
- ・ 周辺地域の利便性向上等、整備後に現れた効果について、情報発信に取り組む。

## （3）同種事業への反映等

- ・ 本事業では整備の進捗に合わせ現道と接続する箇所でバイパスを部分供用させるなど、事業効果を早期発現に努める取り組みを行った。
- ・ 今後、同種事業においても、早期に事業効果が発現出来るよう、部分供用など効率的な事業執行に取り組んでいく。